

病虫害の発生状況とその防除

高山 信明

樹木園及び修景区域における病虫害の防除は一部を業者委託によって定期的に行っているが、

例年10種余りの害虫の発生が確認されている。

委託区域外における防除については、その都度職員によって対応しているが、昭和56年1月から10月までに園内で発生した害虫、被害樹種及び散布薬剤は表のとおりであった。なお、今回はじめて、8～9月にクヌギカレハとイラガの一種の発生が観察された。

園内で発生した病虫害

月	発生病虫害	樹木	薬散その他の処置	結果
昭和56年 1月	カメノコロウムシ ツノロウムシ	トウカエデ・ユキヤナギ サンゴジュ・モッコク ケヤキ・タブノキ クロガネモチ	マシン油乳剤40倍液	発生数の減少
	マツモグリカイガラ ムシほかの予防	クロマツ・タギョウ ショウ・ゴヨウマツ	マシン油乳剤40倍液	
	病気・カイガラムシ 類の予防	サクラ・ウメ・カイドウ	石灰硫黄合剤20倍液	
2月	イセリアカイガラムシ	ユキヤナギ・コデマリ	マシン油乳剤30倍液	発生数の減少
	ウドンコ病、黒斑病 ほか病害予防	シャリンバイ・ハナ ミズキ	石灰硫黄合剤20倍液	
5月	スモモオマルアブラ ムシ	ウメ	スミチオン乳剤1,000倍液	発生害虫ほぼ絶滅 被害部の葉がちぢれて残る
	サクラコブアブラムシ	サクラ類	スミチオン乳剤1,000倍液	発生害虫ほぼ絶滅、被害部 の葉がちぢれてまいて残る
	コナカイガラの一種	カイドウ	スプラサイド乳剤1,000倍液	発生害虫ほぼ絶滅 樹勢がおとろえ、回復遅い
	コカクモンハマキ	ツツジ類	ディプテレックス乳剤 1,000倍液	発生害虫ほぼ絶滅
	ケムシ類	アキニレ・フジ	ディプテレックス乳剤 1,000倍液	発生害虫絶滅
6月	チャドクガ	ヤブツバキ・サザンカ	スミチオン乳剤1,000倍液	発生害虫絶滅
	カミキリムシ幼虫	カイドウ・カエデ類	捕殺	発生害虫絶滅
7月	オオスカシバ	クチナシ	ディプテレックス乳剤 1,000倍液	発生害虫絶滅
	クロネハイイロハマキ	イヌツゲ	ディプテレックス乳剤 1,000倍液	発生害虫ほぼ絶滅 被害部長期に残る
8月	オオスカシバ クヌギカレハ	クチナシ ウラジロガシ	ディプテレックス乳剤 1,000倍液 捕殺	発生害虫絶滅
9月	クヌギカレハ イラガの一種	ウバメガシ タブノキ	ディプテレックス乳剤 1,000倍液	発生害虫絶滅
6月 ～ 10月	ツツジグンバイムシ	ツツジ類	スプラサイド乳剤1,000倍液 (業者委託) 8回	ツツジグンバイムシの発生 きわめて減少